

G

Rotary International District 2530

ガバナー月信2022年 / 4月号

GOVERNOR'S

4
vol.10

Monthly
Letter



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために



いわき市小川町 (夏井川溪谷入口)
(撮影: いわき小名浜RC 椎名悦雄)

CONTENTS

ガバナー月信 2022年4月号

ガバナーメッセージ……………2	「地区運営規定改定特別委員会」設置について…8	1月会員数報告……………13
第5回諮問委員会報告……………3	ロータリーの友へのご投稿のお願い……………8	職業奉仕委員会……………14
「第40回RYLA研修会」開催報告……………4	東北第一分区分「インターシティミーティング(IM)」開催報告……………9	4月行事案内……………14
東北第一分区分「次期幹事セミナー」開催報告……………5	ロータリー学友・吉田昂城さん、郡山交響楽団と共演……………10	公共イメージQRコード……………14
地区チーム研修セミナー……………6	中央分区分「インターシティミーティング」……………11	
会長エレクト研修セミナー (PETS) ……7	新会員紹介……………12	

国際ロータリー第2530地区 2021-22年度 ガバナー 志賀利彦

■ガバナー事務局 〒971-8185 福島県いわき市泉町5丁目10-6

TEL 0246-88-7940 FAX 0246-88-7939 E-mail: 21-22shiga@ri2530.com

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2530地区
2021-22年度ガバナー

志賀利彦

4月は『母子の健康月間』です。

2014年10月RI理事会は、重点分野である「母子の健康月間」である4月を、5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とする研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間といたしました。

現在、高水準な医療技術により日本の周産期死亡率や妊産婦死亡率は極めて低く、世界的にもトップレベルで母子の健康は守られています。しかしせっかく母子共に健康で生まれてきてもその一方でマタニティーハラスメントや産後うつ、ワンオペ育児、DV、児童虐待など問題は残ります。また、若年者の望まない妊娠・中絶・出産も後を絶ちません。

2年前ロータリーの友に掲載された横浜金沢RCの『モンゴルでの母子の健康事業』、東京豊島東RCの『児童養護施設での思春期セミナー』、3年前に掲載された相模原橋本RCの『ホンジュラスで母子の健康事業』など注目すべき事業が展開されました。

日本でも幼児・児童をめぐる虐待案件がしばしば報道されますが、日本のロータリーがそれを防止する事業展開を検討する時期に来ているのではないかと感じます。

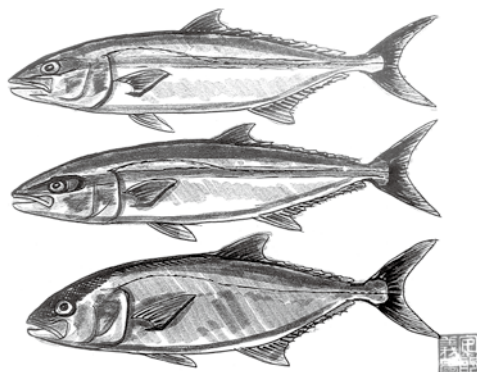
現在世界中がロシアのウクライナ侵攻を非難しております。この原稿を書いている段階では、まだ停戦のさざしは見ていません。ウクライナの主権がロシアの武力で踏みにじられ、人口密集地を標的に、住宅や学校、病院への攻撃が繰り返され、民間人の犠牲が急増しています。こうした悲劇を目の当たりにして、傍観すべきではないと判断し、当地区では、ロータリー財団の「災害救援基金」へ、地区の未配分DDF(地区財団活動資金)から45,000ドル(約522万円)を充てることとし、3月15日に手続きをいたしました。皆様のご理解を賜りたいと存じます。ロータリー財団の「災害救援基金」内容(要旨)は次の通りです。

2022年6月30日まで、ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区5万ドルまでの補助金を申請できます。迅速な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。上記の期間、難民やそのほかの被災者への支援を希望する、影響を受けたほかのロータリー地区も、災害救援基金から25,000ドルの補助金を申請することができます。ウクライナでの救援活動を支援するための災害救援基金へのご寄付は、2022年4月30日までにを行う必要があります。

なお、すでに各クラブにメールでお知らせいたしましたが、この災害救援基金へは、クラブ、個人でも寄付をすることができます。

現在、欧州や世界各地のロータリークラブとローターアクトクラブが、周辺地域の会員とともに迅速に支援活動に乗り出しています。その様子はMy ROTARYに詳しく掲載されているので、ぜひお読みください。

一日も早く平和が訪れることを願ってやみません。



いわき市のサカナ
毎月12種の美味のご紹介
4月：ブリのなかま

●ブリ、ヒラマサ、カンパチ、それぞれ顔も味も微妙に違う。刺身もよいが、あらかじめ鍋に水、醤油、砂糖、酒を煮たて、頭から真二つにしたブリに、煮汁を掛けつつ煮あげる「かぶと煮」もうまい。

画：(公財) ふくしま海洋科学館・アクアマリン ふくしま 名誉館長 安部義孝(元いわき小名浜RC)

第5回 諮問委員会報告 2月19日



地区幹事

蛭田 修二

(いわき小名浜 RC)

2022年2月19日(土) 10:00~12:00に、2021-22年度第5回諮問委員会がZoom方式で開催されました。志賀利彦ガバナーによる開会点鐘、挨拶のあと、志賀ガバナーより早川敬介ガバナーノミニー・デジグネートの入室許可の申し出があり承認され、議事に入りました。諮問事項は以下の通りです。

(1) 2021-22年度後半の行事計画について

蛭田地区幹事より2021-22年度後半(2月~6月30日)の地区行事予定について説明がありました。尚、地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会等、佐藤正道ガバナーエレクト年度事業については、佐藤次年度地区幹事より詳細報告がありました。

(2) コロナ禍における地区行事開催方針について

志賀ガバナーより現況をふまえての基本的考え方について話があり、石黒秀司危機管理委員長より2月28日(月)までの地区方針(セミナー等のオンライン開催及び会食の禁止)を3月13日(日)まで延長する提案がありました。

(3) 地区運営規定改定特別委員会の設置について

志賀ガバナーより、戦略計画委員会で協議してきた地区運営規定改定に向けての議論の場として、戦略計画委員会メンバーとパストガバナー及び高橋金一規則手続委員

長で構成する「地区運営規定改定特別委員会」を設置し、委員長に芳賀裕地区研修リーダーを指名する提案があり承認されました。

(4) RIJYEM(国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構)社員任命について

志賀ガバナーより、現社員である佐久間英一パストガバナーの再任の提案があり承認されました。

(5) 国際ロータリー年次大会(米国 ヒューストン)について

佐藤正道ガバナーエレクトより、国際ロータリー理事会で2022年6月4~8日に直接対面式(ハイブリット)での開催が決定された旨報告がありました。

(6) 規定審議会について(現況報告)

酒井善盛 規定審議会代表議員より2022年4月10日~14日に開催される規定審議会についての現況報告がありました。

(7) 国際協議会(2月7日~15日 オンライン方式)報告について

佐藤正道ガバナーエレクトより、国際協議会で国際ロータリー次年度会長 ジェニファーE・ジョーンズ会長エレクトから示された次年度テーマは「イマジン ロータリー」であるとの報告と国際ロータリー2022-23年度年次目標について説明がありました

(8) 2022-23年度地区組織について

佐藤正道ガバナーエレクトより、2022-23年度地区組織について説明があり承認されました。

以上報告と致します。

「第40回RYLA研修会」開催報告 2月26日



青少年奉仕委員会
RYLA委員会

委員長 中目 公英
(白河西RC)

2022年2月26日(土)、「第40回RYLA研修会」が、オンラインによる半日研修として開催されました。

当初は、2月26・27日に磐梯熱海温泉ホテル華の湯を会場として一泊二日のリアル研修を計画し、地区内各クラブに対して研修生の推薦派遣を案内していました。しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の第6波襲来により、1月14日に危機管理委員会が開催され、地区主催の行事はすべてオンラインで開催することが決定されました。これにより我が委員会では、3年連続のRYLA研修会開催中止だけは避けようと、ガバナー事務所・郡山地区事務所・地区オンライン支援委員会のご協力もいただき、我が地区で初めてとなるオンライン開催に向けて計画を変更し、再度の案内を出し、漸く開催される運びとなりました。



第40回RYLA研修会は、いわきのガバナー事務所へヘッドクォーターを置き、志賀利彦ガバナーによる開会点鐘で開講式が始まり、33名の研修生が登録参加され、派遣ロータリークラブよりのロータリアンが19名、地区の役員委員のロータリアンが27名、総勢79名で開催されました。

ライフキネティックの効果

ライフキネティックトレーニングによる効果

- 基本的な効果
 - 集中力、記憶力、学習能力の向上
 - 精神のおよび身体的なパフォーマンス向上
 - 効率の向上とミス率の減少
 - 疲労ストレスの減少と身体的リラクゼーション
 - 認知力の向上と認知症の予防
 - 介護予防
- スポーツでの効果
 - 疲労しない練習環境実現
 - 動体視力、身体制御力の向上
 - 空間認識能力と適応能力の増大
 - 動作スピード・巧緻性の向上
 - 代表動作の減少
 - 競技成績の向上
- 学校での効果
 - 学習能力と記憶力の向上
 - 問題解決方法の発見能力の向上
 - 文章の理解力と文章問題の解答能力の向上
 - 知育の促進とIQの向上
- 職場での効果
 - 業務集中力、効率の向上
 - メンタルヘルス
 - 業務上のミスの減少
 - 労災の減少



一番目は、遊VIVAGYM代表の大内克泰さんによる、「パフォーマンスを引き出す為にできること」と題する講演が行われました。ライフキネティック理論による脳トレを行うことで作業効率が格段に向上することが説明されました。お話を何うばかりでなく、画面越しに体を動かして、参加者全員がライフキネティックを体験しました。

二番目は、福島中央テレビの「ゴジてれChu!」で人気コーナーである「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」でお馴染みの鈴木文健さんと、アナウンサーで中テレのSDG s 推進チームリーダーを担う中山可那子さんによる、「ゴミ拾いから始まったSDG s」と題する講演が行われました。始めからSDG s を目的にしていたのではなく、福島県をよくしようという熱い思いが先にあり、人とのつながりや思いやりから生まれるゴミ拾いが、結果的にSDG s を推し進めていたということに気づいたと、その番組を振り返りながらお話されました。

これらの講演の後、研修生たちは4つのブ

レイクアウトルームに分かれて、SDGsの理念に合致する活動についてグループディスカッションを行いました。それぞれのルームでは、先ず自己紹介が行われ、年齢や職種が異なる中での話し合いに真剣に取り組んでいました。

地区内のローターアクトクラブの役員の方には、それぞれのルームの班長と、内容発表をしていただきました。ローターアクターを重要視するロータリーの流れの中で、大いに活躍していただきました。



閉講式では、芳賀裕地区研修リーダーと大木和彦青少年奉仕委員会委員長より、コロナ禍の中でもSDGsに関心を寄せ、今後はライラリアンとして活躍されることを期待しているとの総評をいただきました。

今回の研修会で学んだことや気づいたことを生かし、研修生が自分の将来を見つめつつ、会社や地域社会でリーダーシップを発揮されることを期待して、地区初となったオンラインによる「第40回RYLA研修会」の報告とさせていただきます。



県北第一分区「次期幹事セミナー」開催報告 2月26日



ホストクラブ
福島中央RC会長

今野 朗

2022年2月26日(土)午後3時より、福島市「ウェディング エルティ」にて県北第一分区「次期幹事セミナー」が開催され、ホストクラブを福島中央ロータークラブが務めました。

本年度はコロナ禍につき感染拡大防止策を徹底した上で、参加人数も制限を図り、阿久津肇パストガバナー、箭内一典次年度ガバナー補佐予定者他、県北第一分区7ロータークラブの次期幹事、総勢17名が参加しました。

ホストクラブ会長今野朗の開会辞により始まり、講師・参加者の紹介、県北第一分区佐藤宗弘ガバナー補佐の挨拶後、セミナーに入りました。講師はパストガバナー阿久津肇氏が務め、「幹事としての

心得」について講義が行われました。

講義はスライドで紹介され、幹事として必要な心構えや知識の身につけ方などを熱心にご指導頂きました。出席された次期幹事の皆様は、阿久津肇パストガバナーの懇切丁寧な説明を聴講し、理解を深められ、自信を得られたことと察します。

箭内一典次年度ガバナー補佐予定者による挨拶をもって午後4時45分閉会しました。

ご出席頂きました皆様にはコロナ禍の折何かとご多忙の処、ご理解・ご協力を賜り、有り難うございました。



地区チーム研修セミナー 2月27日



次期地区幹事

佐藤 日出夫
(喜多方RC)

2022年2月27日（日）13時より地区チーム研修セミナーがオンライン（Zoom）で開催されました。

国際協議会が急遽オンラインで2/7～2/15開催されることに変更となり、研修プログラム等のご連絡が遅くなり、ご迷惑をおかけしました。

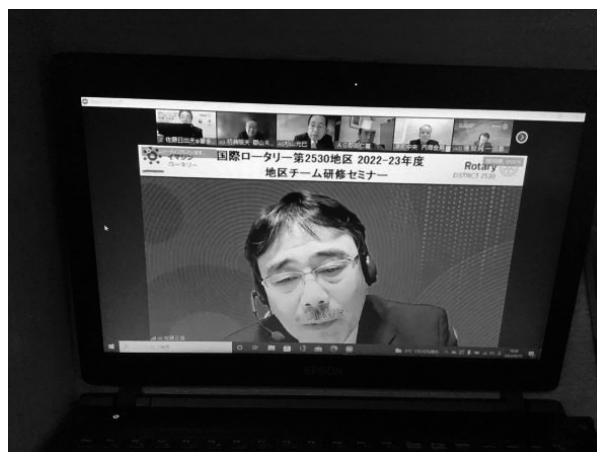
第1セッションは「R I テーマと地区活動・方針」のテーマで佐藤正道ガバナーエレクトが発表されました。先ずR I 会長エレクトであるジェニファーE. ジョーズ氏（カナダ）の紹介があり、次期R I テーマ「IMAGINE ROTARY」が発表されました。「私たちには皆、夢があります。しかし。そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎日目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。昨日のことをイマジン（想像）する人はいません。それは未来を描くことです。」その後、地区方針の発表前に佐藤正道ガバナーエレクトより参加者の皆様へメッセージが贈られました。

「ロータリーはどんな組織なのですか？どうしてロータリークラブに入会したのですか？なぜロータリーを続けるのですか？これらの問いに皆さんは明確に答えることが出来るのでしょうか？日本のロータリアンは1996年の13万1千人をピークに減り続け、今年の1月末では8万4700人余りに減少しました。実に35%の減少です。なぜ会員が減少した

のでしょうか？入会する人が少ないのでしょうか？退会する会員が多いのでしょうか？」この後、地区方針についての発表が行われました。詳細はPETS報告編をご覧ください。第2セッションは「地区チームの役割と責務」をテーマに石黒秀司次期地区研修リーダー（直前ガバナー）より詳細なご説明をいただきました。

第3セッションは「地区の管理と運営」をテーマに芳賀裕地区研修リーダー（パストガバナー）より詳細なご説明をいただきました。その後、ガバナー補佐会議と11の委員会に分かれて分科会が開催されました。分科会終了後、委員会毎に分科会の発表が行われ地区チーム研修セミナーを無事に終えることができました。

地区チーム研修セミナー終了後、佐藤正道ガバナーエレクトの希望によりオンライン懇親会を開催させていただきました。薄毛の話題かと思えば、最後は青少年交換プログラムについて熱く語り合う皆さんを見てロータリアンっていいなと感じる瞬間を共有させていただきました。



会長エレクト研修セミナー（PETS） 3月12日・13日



次期地区幹事
佐藤 日出夫
(喜多方RC)

会長エレクトセミナー（PETS）はオンライン（Zoom）にて2日間開催されました。第1セッションでは「R I テーマと地区目標」をテーマに佐藤正道ガバナーエレクトより発表がありました。先ず、R I 会長エレクトジェニファーE. ジョーンズ氏（カナダ）と次期R I テーマ「IMAGINE ROTARY」についての説明が行われました。

地区スローガンとして「情熱をもって行動し、感動（成果）を共有しよう」が発表されました。

地区方針は「国際ロータリー2022-23年度年次目標を達成するため、DEIを取り入れ、行動規範を遵守し、ロータリーの行動計画を実践します。やらされ感からやりがい感へ。会員とクラブが輝く地区づくり。クラブが自主性を持って活動できるよう、クラブが主役の地区運営を目指します。クラブの御用聞きとなって支援をしていきます。」

地区重点目標は次の通りです。

1. DEIを取り入れた会員増強拡大
2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
3. 活動の情報発信
4. ネットワークの構築
5. ポリオ撲滅

第2セッションでは「地区管理と運営」をテーマに平井義郎パストガバナーと「クラブ管理と会長の責務」をテーマに芳賀裕地区研修リーダー（パストガバナー）よりご説明を

いただきました。

第3セッションでは「地区研修委員会の方針と計画」をテーマに石黒秀司次期地区研修リーダー（直前ガバナー）よりご説明をいただきました。その後、各委員長より次期の方針等についてご説明をいただきました。

今年のPETSでは地区RLI委員会のDLの皆様にご協力をいただき「なぜ会員増強が必要か?」「クラブの情報を発信する必要がありますか?」「インパクトのある奉仕活動をしていますか?」の3つのテーマでグループディスカッションを取り入れました。会長エレクトの皆様と好取組事例やクラブの悩みを共有することが出来た有意義な時間だったと思います。

2日目最終の第8セッションまで講師の皆様、会長エレクトの皆様たいへんお疲れさまでした。私にとってしばらくは忘れられないPETSとなりました。



「地区運営規定改定特別委員会」設置について



国際ロータリー第2530地区
2021-22年度ガバナー

志賀 利彦

第2530地区の「地区運営規定」は2016-17年度に改正され、2019年3月に「地区規定・表彰検討チーム」により一部改正されたものが現行となっております。

2019-20年度と2020-21年度の2年間に渡り「規則・手続委員会」により改正案が検討され、2021年6月に改正案が示されました。これを受けて、このたび下記メンバーによる特別委員会を設置し、本年6月末までに地区運営規定の改定を進めることにいたしました。

◇地区運営規定改定特別委員会

- 委員長 芳賀 裕
(地区研修リーダー)
- 副委員長 高橋 金一
(規則・手続委員会委員長)
- 委員 阿久津 肇
(規則・手続委員会担当相談役)
- 酒井 善盛
(規定審議会代表議員)
- 平井 義郎
(直前地区研修リーダー)
- 石黒 秀司
(直前ガバナー)
- 佐藤 正道
(ガバナーエレクト)
- 右近 八郎
(ガバナーノミニ)
- 蛭田 修二
(地区幹事)

ロータリーの友へのご投稿のお願い



ロータリーの友地区代委員

比佐 臣一

(いわき小名浜 RC)

本年度も残り3か月ほどになりました。地区会員の皆様には積極的なご協力を頂き、毎月「ロータリーの友」へ、各委員会、各クラブさんからご投稿を頂き深く感謝申し上げます。

更に先月は超我の奉仕賞に輝いた阿久津肇パストガバナーから玉稿をお寄せいただき、猪苗代RC、富岡RCの会員さんからもご投稿いただきました。有難うございました。

ロータリーの友の購読はロータリアンの義

務とされておりますが、自分の原稿が友に掲載されることは、ロータリアンとしての思い出となり、またご自身の良き記念にもなると考えております。第2530地区の諸先輩・会員各位の積極的なご支援・ご投稿を何卒よろしくお願い申し上げます。

各コーナーの内容や字数、締切り、投稿方法等については、ロータリーの友のホームページ (www.rotary-no-tomo.jp) 最初の画面の「投稿をお待ちしています」のバナーをクリックしてご覧ください。

■お問合せ

ロータリーの友事務所：03-3436-6651
比佐臣一：090-3755-6005

県北第一分区「インターシティミーティング(IM)」開催報告 3月19日



県北第一分区
ガバナー補佐 佐藤 宗弘
(福島西 RC)

2022年3月19日(土)午後2時より、福島市「クーラクーリアンテ サンパレス」にて県北第一分区「インターシティミーティング」が開催され、ホストクラブを福島21ロータリークラブが務めました。当日は志賀利彦ガバナー、佐藤正道ガバナーエレクトにも遠方より足を運んで頂き、大橋廣治パストガバナーを始め、県北第一分区会長・幹事を含め33名の会場参加者を頂きました。

本年度はコロナ禍につき感染拡大防止策を徹底した上で、会場参加人数も制限を図り、YouTube配信による形式での開催となりました。

IMテーマを「語り合い次につなげる」と掲げたものの、職業人のリーダー同士が語り合う場や懇親会を設けることができませんでしたが基調講演を(株)くつろぎ宿代表取締役社長深田智之様に講師としてお迎えし、東日本

大震災時には一人でも多くの人に一時のやすらぎと安眠を提供され、休暇も取らずにフル稼働で被災者の対応にあたったスタッフの姿に感動したといいます。人を動かす一番の原動力というのは自分が人の役に立っているという意識、「人を動かす妙」を感じ取った次第です。さらに特別講師として志賀ガバナーに趣味のマラソンと経営について講話頂き、誰にも負けない努力をする、謙虚にして驕らず、マラソンには必ずゴールがあるよう経営にも必ず希望の先はがあるとユーモア溢れる内容で、理性で反省し、利己心を追い出して利他の心を芽生えさせることを学び得ました。

結びに、3月16日に発生しました福島県沖を震源とする地震により少なからず被災された中で、ご出席頂きました皆様と開催前日まで修繕等に尽力頂きましたサンパレス様に感謝申し上げ報告とさせていただきます。



ロータリー学友・吉田昂城さん、郡山交響楽団と共演 3月5日

3月5日（土）午後2時からけんしん文化センターにおいて、昨年、若いプロの音楽たちが自主的に立ち上げた郡山交響楽団の第二回演奏会は、多くの観客の皆様と音楽を創り出すオーケストラが静かな感動の渦の中で一体となり、大成功に終わることができた。

最初の演奏は、ウィーンに留学しているロータリー学友・吉田昂城さんと友人の藤川有樹さんが、息の合ったバッハの世界を表現し、郡山交響楽団と素晴らしい演奏を披露した。J.S.バッハの「二台の鍵盤楽器のための協奏曲ハ短調」は、あまり演奏される機会がないが、会場に集まった観客の皆さんは、穏やかな光で包まれるような安らぎに満ちたひとときを堪能されていた。二曲目のメンデルスゾーンのピアノ協奏曲第1番は、高度な演奏技術が要求される曲で、吉田昂城さんの音楽にかける情熱がほとばしり、作曲家の想いを表現すべく、感動的で素晴らしい演奏となった。最後の郡山交響楽団のモーツァルトの交響曲第39番では、指揮者の永原裕哉さんとオーケストラが心をついに壮大な音楽を創りあげていた。また、全員で演奏された最後のアンコール曲“The Prayer”「祈り」では、多くの方が、世界の平和や人々の幸福を祈りながら聞いていたように感じられた。

今回の演奏会は、郡山交響楽団の地元、中央分区10クラブ、そして、吉田さんの出身地である浪江、相双分区の6クラブが中心になり支援を行い、さらには、地区全体の多くのみなさまから広告協賛、寄付、当日のご参

加と心温まるご協力が寄せられた。心より感謝申し上げます。これからも、私たちは、地域社会の文化芸術、教育の分野で支援を続け、福島若者たちの未来への挑戦、飛躍を応援していきたいと考えております。

最後に郡山交響楽団の団長、五十嵐陽さん、事務局の長谷川弘樹さん、そしてオーケストラの皆様、関係者からロータリーのご協力、ご支援に対して心からの御礼の気持ちを承っております。ありがとうございました。

中央分区ガバナー補佐 鈴木美恵子
相双分区ガバナー補佐 幕田 正高
学友・平和フェロシップ委員会
委員長 吉田 佳代



中央分区インターシティミーティング 2月11日



「人を育てるロータリーのプログラム—学友とのつながり—」

中央分区ガバナー補佐 鈴木 美恵子
(福島グローバルRC)

中央分区のインターシティミーティングは、2022年2月11日、オンラインで開催された。インターシティミーティングのテーマとしては、初めて「学友」に焦点を当てた。

講演は、ロータリー財団奨学生としてイタリアに留学した学友、石田雅芳さん(福島市出身、立命館大学食マネジメント学部教授)に、「ロータリーとの出会い、そして、今—『大学で食を学ぶということ』—」というお話をいただいた。イタリアの町の様子、人々の様子、石田教授が学生をイタリアに連れて行き、そこで食に関わっている人と出会い、実際に地元の食材や調理について学んでいる様子、さらには「スローフード」の歴史や活動についても、美しい写真を見ながら興味深く理解し学ぶことができた。

続いて、「ロータリーの人を育てるプログラム」に参加した学友の皆さんについて、推薦クラブや関係者からご紹介いただき、「ロータリーとの出会い—学友たちの今、そして、未来—」についてお話していただいた。最初は、郡山西RCの安藤元二さんから、青少年交換留学生・学友(ローテックス)増子三寿々さんが紹介された。増子さんには、2018-19年度にメキシコに派遣され、現地での様々な経験についてパワーポイントで写真なども示しながら話していただいた。現在は奥羽大学歯学部在籍しており、目標は、姉妹で歯科医を開業することであると締めくくられた。

続いて、郡山西RC、会長エレクトの森尾和衛さんから、米山記念奨学生・学友 チーフエイシャイさん(マレーシア出身)の紹介をしていただいた。チーさんは、森尾さんの会社でマルチリンガルの能力を生かし、製薬会社(ゼノアック)にとって重要なポストである開発部長及び関連会社の取締役も務め、今後の活躍が期待されているとのことであった。チーさんは、奨学金で支援して育てていただいた日本に少しでも恩返しできるように、日本で働くことを決心し、現在、会社では、日本が持っている高い技術を海外に発信し、展開できるように頑張っていることについて話して下さった。

次に、郡山安積RCのロータリー財団委員長、影

山利美さんから地区補助金奨学生・学友で、現在、カナダ、ブリティッシュ・コロンビア大学3年在学している長峯将司朗マーティンさんについて紹介していただいた。長峯さんは、自分が留学する前にいろいろと悩んでいたもので、これから留学する人の役に立つようにYouTubeで情報発信をしているとのこと、動画のいくつかを視聴させていただいた。カナダでの大学生生活も含めて、彼の独自の奉仕活動についても垣間見ることができた。

最後は、郡山RC会長の福島佳之さんから地区補助金奨学生・学友の梁取里さん(声楽家)を紹介していただいた。梁取さんは、ウィーンに留学し、その後東京藝術大学博士課程卒業している。自己紹介の後、何曲か歌曲を披露してくださった。いつか、ロータリアンの皆様に生の演奏をお聞かせしたいとのことであった。

最後に講演者の石田さんと当時のカウンセラーであった阿久津パストガバナーが、ほぼ30年ぶりにZoomでの再会となった。お二人とも大変喜ばれ、石田さんは久しぶりに阿久津先生にお会いし、涙がこみあげてきそうだったと語られた。

今回の企画では、多くのロータリアンから、素晴らしい若者がロータリーのプログラムで育っていることを初めて知って感動したとの感想があった。今後は、さらに、学友とロータリアンとのつながりを大切にし、ロータリーファミリーとして継続して共に奉仕活動に参加できる機会などを課題として検討していきたいと考えている。みなさまのご参加、ご協力にあらためて感謝いたします。

※ なお、他の分区の方で、学友に興味がある方は、YouTubeでご覧いただけます。
以下、参照

IM全体 <https://youtu.be/AGlKZ4d8x3Q>


石田雅芳様講演 <https://youtu.be/MtvLtDMKqcg>

学友4名スピーチ <https://youtu.be/V3ogguAPOAs>


新会員紹介




● 県北第一分区 福島 RC
中尾 勉 なかお つとむ
 ● 入会日 2022年2月17日
 ● 職業分類 家電販売
 ● 勤務先 (株)ナカオ




● 県北第一分区 二本松 RC
堀井 俊行 ほりい としゆき
 ● 入会日 2022年2月2日
 ● 職業分類 パソコン販売
 ● 勤務先 有限会社電通システム




● 県北第一分区 二本松 RC
渡辺 聡 わたなべ さとし
 ● 入会日 2022年2月2日
 ● 職業分類 印刷業
 ● 勤務先 有限会社渡辺謄写堂



● 県北第一分区 二本松 RC
野地 哲也 のじ てつや
 ● 入会日 2022年2月2日
 ● 職業分類 電装業
 ● 勤務先 有限会社福野電装



● 県北第一分区 福島中央 RC
西屋 明 にしや あきら
 ● 入会日 2022年2月2日
 ● 職業分類 雑貨製造・輸入・販売
 ● 勤務先 有限会社フルハウス



● 会津分区 会津若松西 RC
松浦 久美 まつうら くみ
 ● 入会日 2022年1月27日
 ● 職業分類 産業廃棄物処理業
 ● 勤務先 株式会社 アクトイン



● 県中分区 船引 RC
三浦 芳昌 みうら よしまさ
 ● 入会日 2022年2月2日
 ● 職業分類 郵便事業
 ● 勤務先 移郵便局



国際ロータリー年次大会2022 ●開催地：アメリカヒューストン ●開催期間：2022年6月4日(土)～8日(水)

地区推奨コース

A-1 3泊5日 6月4日(土)～8日(水) ユナイテッド航空
 成田発 エコノミー10席 UA ¥320,000

日程	都市名	時間	交通機関	概要	宿泊地
① 6/4(土)	成田 ヒューストン	16:35発 14:40着	UA-006	ユナイテッド航空にてヒューストンへ	ヒューストン泊
② 6/5(日)	ヒューストン	—	—	開会式	ヒューストン泊
③ 6/6(月)	ヒューストン	—	—	終日自由行動	ヒューストン泊
④ 6/7(火)	ヒューストン	11:10発	UA-007	ユナイテッド航空にて成田空港へ	機中泊
⑤ 6/8(水)	成田	14:20着	—	成田空港到着 自由解散	—

B 5泊7日 6月2日～8日 日本航空
 羽田発 エコノミー30席 JL ¥435,000

日程	都市名	時間	交通機関	概要	宿泊地
① 6/2(木)	羽田 ダラス オースティン	10:55発 08:40着	JL-012	ダラス市内観光 後、専用バスにてオースティンへ	オースティン泊
② 6/3(金)	オースティン サンアントニオ	—	専用バス	テキサス大学 テキサス議事堂	サンアントニオ泊
③ 6/4(土)	サンアントニオ ヒューストン	—	専用バス	アラモ岩	ヒューストン泊
④ 6/5(日)	ヒューストン	—	—	開会式	ヒューストン泊
⑤ 6/6(月)	ヒューストン	—	—	終日自由行動	ヒューストン泊
⑥ 6/7(火)	ヒューストン ダラス	04:30発 11:10発	JL-011	専用バスにてダラスへ	機中泊
⑦ 6/8(水)	羽田	14:20着	—	羽田空港着後 自由解散	—

●お問い合わせはガバナーエレクト事務所 (☎0241-23-6016) まで

2月会員数報告とMy ROTARY 登録率・生年月日登録率

分区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	前月末会員数 (内女性)	1日付け入会者数 (内女性)	2日～月末入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月末会員数 (内女性)	例会 回数	My ROTARY 登録率	生年月日 登録率
中央分区	郡山	98 (0)	98 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	98 (0)	0	22.45 %	22.45 %
	郡山西	38 (0)	40 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (0)	1	75.00 %	7.50 %
	郡山東	34 (3)	35 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (3)	1	85.71 %	60.00 %
	郡山南	90 (12)	87 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	87 (13)	2	77.27 %	100.00 %
	郡山北	39 (1)	40 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (0)	2	55.00 %	20.00 %
	郡山西北	42 (1)	42 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (0)	0	30.95 %	11.90 %
	郡山安積	51 (3)	50 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	50 (3)	1	28.00 %	22.00 %
	郡山アーバン	30 (15)	29 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (15)	1	68.97 %	31.03 %
	郡山コスモス	15 (4)	17 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	16 (2)	1	75.00 %	62.50 %
福島グローバル	18 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	3	70.59 %	94.12 %	
中央分区小計		455 (41)	455 (39)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	454 (38)	12	58.89 %	43.15 %
県北第一分区	福島	94 (5)	94 (7)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	95 (7)	2	100.00 %	96.81 %
	二本松	37 (2)	37 (5)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	40 (5)	1	60.00 %	95.00 %
	福島南	70 (6)	67 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	67 (6)	0	72.06 %	100.00 %
	福島西	23 (2)	23 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (1)	2	69.57 %	100.00 %
	福島中央	50 (3)	51 (4)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	52 (4)	3	100.00 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	35 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (5)	0	91.43 %	97.14 %
	福島21	42 (4)	42 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (4)	3	95.24 %	97.62 %
県北第一分区小計		351 (27)	349 (32)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	354 (32)	11	84.04 %	98.08 %
会津分区	会津若松	51 (0)	52 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	52 (0)	0	36.54 %	92.31 %
	喜多方	42 (0)	44 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	44 (0)	3	95.45 %	100.00 %
	会津若松西	24 (0)	27 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	26 (1)	4	56.00 %	92.00 %
	猪苗代	26 (4)	26 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (3)	3	88.46 %	88.46 %
	会津坂下	32 (0)	33 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (0)	0	69.70 %	12.12 %
	田島	33 (0)	35 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (0)	0	62.86 %	71.43 %
	会津若松南	16 (1)	14 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (1)	0	33.33 %	100.00 %
	会津若松城南	24 (0)	25 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (0)	2	44.00 %	100.00 %
	喜多方中央	32 (1)	31 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (1)	3	80.65 %	96.77 %
	会津若松中央	19 (8)	21 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (6)	2	85.00 %	95.00 %
会津分区小計		299 (14)	308 (12)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	307 (12)	17	65.20 %	84.81 %
いわき分区	いわき平	50 (0)	50 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	50 (0)	0	22.00 %	98.00 %
	いわき小名浜	70 (0)	72 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	72 (0)	0	29.17 %	97.22 %
	いわき勿来	39 (0)	42 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (0)	0	31.71 %	100.00 %
	いわき内郷	25 (1)	25 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (3)	0	28.00 %	56.00 %
	いわき常磐	20 (0)	19 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (0)	0	35.29 %	29.41 %
	いわき平夷	38 (2)	38 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	38 (3)	1	89.74 %	87.18 %
	いわき四倉	11 (3)	11 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (3)	1	27.27 %	100.00 %
	いわき平中央	29 (4)	30 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (4)	1	25.81 %	93.33 %
	いわき桜	15 (15)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	3	85.71 %	100.00 %
いわき分区小計		297 (25)	301 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	301 (27)	6	41.63 %	84.57 %
県北第二分区	飯坂	41 (4)	41 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (4)	0	100.00 %	100.00 %
	福島北	53 (1)	53 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	53 (1)	1	100.00 %	100.00 %
	保原	28 (1)	29 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (3)	0	62.07 %	100.00 %
	福島東	40 (3)	39 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (3)	1	84.62 %	100.00 %
	梁川	17 (1)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	0	75.00 %	100.00 %
	川俣	36 (2)	36 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (2)	0	65.71 %	100.00 %
	福島しんたつ	21 (3)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	1	52.94 %	100.00 %
県北第二分区小計		236 (15)	231 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	231 (17)	3	77.19 %	100.00 %
県南分区	白河	42 (3)	40 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (2)	0	29.27 %	17.07 %
	須賀川	45 (0)	46 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (1)	0	17.39 %	84.78 %
	東白川	11 (0)	13 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	14 (0)	1	41.67 %	100.00 %
	石川	36 (1)	35 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (1)	0	28.57 %	100.00 %
	矢吹	10 (1)	12 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (1)	0	27.27 %	45.45 %
	白河西	64 (5)	66 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	66 (6)	3	100.00 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	13 (0)	12 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	0	50.00 %	91.67 %
	白河南	16 (0)	16 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (0)	0	12.50 %	0.00 %
県南分区小計		237 (10)	240 (11)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	241 (11)	4	38.33 %	67.37 %
相双分区	原町	23 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	0	25.00 %	100.00 %
	相馬	29 (4)	31 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (4)	0	25.81 %	100.00 %
	浪江	44 (2)	44 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	44 (2)	1	29.55 %	100.00 %
	富岡	40 (3)	42 (5)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	40 (5)	1	23.81 %	100.00 %
	原町中央	42 (6)	43 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	43 (6)	0	16.28 %	97.67 %
	南相馬	24 (3)	24 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	23 (3)	0	87.50 %	100.00 %
相双分区小計		202 (18)	208 (20)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	205 (20)	2	34.66 %	99.61 %
県中分区	本宮	37 (5)	36 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (7)	1	36.11 %	86.96 %
	三春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	3	69.57 %	86.96 %
	常葉	23 (0)	26 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	26 (0)	0	52.00 %	100.00 %
	滝根	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1	100.00 %	100.00 %
	船引	45 (3)	47 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	48 (3)	1	59.57 %	12.77 %
小野	20 (0)	19 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (1)	3	21.05 %	100.00 %	
県中分区小計		150 (10)	153 (13)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	154 (13)	9	56.38 %	81.11 %
2530地区合計		2,227 (160)	2,245 (171)	0 (0)	8 (0)	6 (1)	2,247 (170)	64	57.04 %	82.34 %

*7/1現在会員数には7/1入会者9名・退会者1名を含んでいます。



職業奉仕委員会
副委員長

齋藤 純一
(会津若松西 RC)

ロータリー100年史を読んで

日本では、1940年から1949年までの戦中戦後、RIを離れていた関係や、当時の敵国人であったアーサー・シェルドンの論考を説くわけにもいかず、二宮尊徳や石田梅岩や近江商人の例を取り上げ、また東洋思想の影響からか、日本のロータリアンの多くは職業奉仕に大きな関心を抱き、多くのロータリーの指導者たちが職業奉仕を説いています。この時期があったからこそ日本特有の職業奉仕観の発展拡大が醸成されたのではないかと拝察します。ロータリー100年史に綴られる職業奉仕観は、日本の風土に合致して、説得力のある文面になっています。先達は、職業奉仕はあくまでも経営者や事業者個人の取組むべき心構えであると考えていました。100年史を通して、ほとんどの方は、それぞれの論を述べられても、結局は決議23-34に戻ってきましたし、職業奉仕に帰結してきました。RIとロータリークラブの上下関係は一切ありません。平等な関係であり、RIと地区は各ロータリークラブを支援するためにあります。各ロータリークラブには標準クラブ定款に明記されているように自治権があります。定款に反しない限り、各クラブの意思でロータリー活動を推進することが出来るのです。ロータリークラブとしてまたロータリアンとして、職業奉仕をどのように捉え、奉仕の理念を実践していくかは各クラブにその裁量権があるということです。RIが職業奉仕に対して軽視的傾向が見られることも事実ですが、日本のロータリーが培ってきた職業奉仕観は今までも、そしてこれからも受け継ぎ、さらに発展拡大していかなばならない重要な取り組みではないでしょうか。そこに世界に先駆ける日本の明るい未来を予感するのは私だけでしょうか。

行事案内 (4月)

- 4月9日(土)・県南分区IM、県北第二分区IM
- 4月10日(日)・会員増強・ロータリー情報委員会セミナー
- 4月16日(土)・社会・国際奉仕委員会セミナー
- 4月23日(土)・二本松RC創立60周年記念式典
郡山西RC創立55周年記念式典
会津坂下RC創立55周年記念式典
- 4月24日(日)・2022学年度米山記念奨学生歓迎オリエンテーション

公共イメージIT委員会からのお願い

スマホのカメラでQRコードを読み取り「お気に入り」登録や「いいね」をお願いします。



紹介HP 新聞掲載用デザイン
(福島民報、福島民友新聞)



公共イメージIT委員会
Facebook ページ

《今月の表紙紹介》

撮影：いわき小名浜RC 椎名悦雄



小川町入口に掛かる(夏井川)三島橋は、冬は白鳥の休み場。数百羽が羽を休めている場所。白鳥が飛び立つと3月中頃より川沿いに桜が咲き市民の憩いの名所となっています。